

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

2015年度のスタートにあたって

組合員の皆様こんにちは。2014年は実質マイナスの診療報酬改定と消費税増税というダブルパンチのもと、救急車受け入れ数や手術件数などを増やし、全体に医療活動を落とすことなく頑張りました。時間外外来ばかりでなく、(急性期病院としては少ないですが)紹介状を持たない来院患者さんへの応需にもできるだけの職員配置を行い、「いつでも」「だれでも」という医療生協の理念を実践しています。



「病院規模に応じた機能を峻別しながらその地域の医療供給体制を作る」という国の施策において、当院規模であれば急性期医療を担う役目が期待されます。この急性期医療を維持発展させることを優先課題としながら、「組合員さんとともに地域に根差す医療機関として在る」ということを考えるとき、とよみ生協病院、診療所や介護事業所などの他の医療生協事業所との役割分担と連携、さらに他法人事業所との連携を進める所に道を求める必要があります。この課題に対して2015年度は、地域連携室の拡充を行います。また、昨年総代会で確認されたように定期通院外来の一部をとよみ生協病院にバトンタッチし、長い眼でみた慢性疾患コントロールの新たな形を模索していきます。

今あらためて基地のない沖縄を取り戻す目標、健康で平和な地域をつくる目標に向かって、地域事業所との連携役を果たしながら頑張っていきたいと思えます。引き続き、患者さん・組合員さんの叱咤激励をよろしくお願いいたします。

副院長 横矢隆宏

新入職員オリエンテーション

去る3月23日(月)、新入職員オリエンテーションが開かれ、共済会からのお知らせ、防災に関するDVD視聴、消火器訓練、医療生協組合のお話、組合へ加入手続、名札の写真撮影などが行われました。

新入職員職種別内訳

研修医	9名
看護師	26名
医療事務	5名
一般事務	1名
社会福祉士	1名
薬剤師	1名
助産師	1名
臨床検査技師	2名
合計	46名



★医師の動向

2015年4月1日付

異動内容	氏名	科目
入職	澤 岨 由希子	内科
	増 田 暁 史	内科
	金 沢 章 弘	内科
	若 林 創	整形外科
	島 袋 博 恵	産婦人科
専門研修から帰任	佐久田 豊	内科
	加 藤 航 司	外科
専門研修へ	仲宗根 卓	内科
	永 村 良 二	内科
	島 袋 博 恵	産婦人科
退職	中 村 隼 人	内科
	木 村 嵩 之	初期研修修了
	上 田 百 蔵	初期研修修了
	梶 山 恵 充	初期研修修了
	前 原 宏 基	初期研修修了
	仲 地 里 織	初期研修修了

初期臨床研修終了式



去る3/10(火)、沖縄協同病院の2014年度 初期臨床研修修了式が行われ8名の研修医が初期研修を修了し新たな一歩を踏み出しました。

変形性膝関節症について

104 整形外科



最近ロコモティブシンドローム(ロコモ)という言葉が耳にしませんか? 骨、関節、筋肉などの運動器が加齢や病気によって衰えるためにおこり、歩行が困難になることで生活の自立度が下がり、介護が必要になる状態を指します。変形性膝関節症はそのロコモになる要因の一つと言われています。老化による変性で膝関節の軟骨がすり減っておこりますが、骨折や靭帯損傷、半月板損傷の後遺症として起こることもあります。初期の症状としては立ち上がりや歩き始めなどの動作の開始時のみの痛みから始まり、進行すると正座ができなくなったり、階段の上り下りが困難となります。末期には膝の変形が進み、膝がまっすぐ伸びなくなり、痛みがとれず歩行が困難になります。現在の医学ではすり減った軟骨を元通りにする特効薬はなく、痛みを軽くする治療がメインとなります。痛みどめの飲み薬や湿布、ヒアルロン酸の注射、筋力訓練、装具療法など保存療法から行っていきます。保存療法を行っても症状が改善せず、変形の進行や痛みがあれば最終的には人工膝関節置換術を考えます。

今回は保存療法の中で大腿四頭筋の筋力訓練をご紹介します。いくつか方法はありますが、その一つは椅子に座った状態で片脚の膝を伸ばして椅子と同じくらいの高さまで上げ10秒間保持します。ゆっくりおろして3〜5秒休憩しまた脚を伸ばすことを10〜20回繰り返します。膝をできる限り「伸ばす、伸ばす」と意識することが大切です。

整形外科医師 上原健

第1回沖縄医療生協子ども健康まつり



去る3月8日に沖縄県総合運動公園(沖縄市)で行われた沖縄医療生協子ども健康まつりに参加しました。広い会場を大きく使った催し物も多くあり、子どもはもちろん、お父さんやお母さん、年配の方も楽しめるお祭りだと思いました。

また、小児科、産婦人科の医師による健康相談などもあり、病院に行くほどではないけど、ちょっと聞きたいことや、不安に答えるブースもありました。まだ第1回なので、これから第2回、第3回と続けていってほしいと思いました。

沖縄協同病院 医療事務課 西江量俊

第10回全日本民医連整形外科・リウマチ懇話会in沖縄

3月13日・14日の2日間、第10回全日本民医連整形外科・リウマチ懇話会がユインチホテル南城で開催され、全国から95名が参加、演題発表、交流企画、記念講演、懇親会などが催されました。



実行委員長は当院整形外科部長、津田智弘先生が務め、大会のテーマとして「一新紀元～平和の島から新たな一歩～」をあげました。意味は新しい時代の始まりのこと。開催地の沖縄の現状にふさわしいテーマとなりました。

懇親会では三線やエイサー演奏などで会場が大いに盛り上がり、県外の参加者も一緒にカチャーシーを踊って楽しみました。

今回、全日本民医連の仲間が沖縄に集結し整形外科・リウマチに関する学術的な交流も深められました。改めて民医連の繋がりの大切さを実感しました。

リハビリ室 理学療法士 松原勝也

外来体制変更のお知らせ

皮膚科 (2015年3月～)

	月	火	水	木	金	土
午前	一診	新井真佐子		新井真佐子	山城栄津子	
	二診				仲松あや乃	

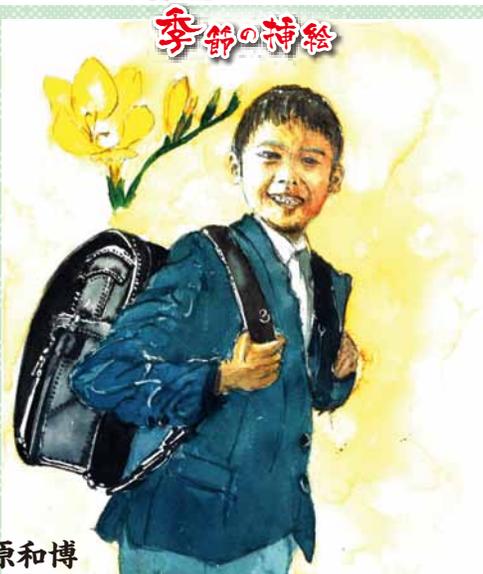
《診療開始時間・受付終了時間》 午前 9:00～10:00

小児科 (2015年3月～)

	月	火	水	木	金	土
午前		新田宗秋	新田宗秋	新田宗秋	新田宗秋	予約・紹介外来
		川出博恵	長嶺健次郎	比嘉千明	中村真紀	(1・3神経外来) 大見剛
	(9:30-11:30)	尾辻健太				(2・4アレルギー外来) 尾辻健太
午後	(アレルギー外来)	(ワクチン外来)	(1・3神経外来)	(アレルギー外来)	(ワクチン外来)	
	尾辻健太	新田宗秋	大見剛	尾辻健太	新田宗秋	
	(アレルギー外来)		(1ヶ月健診)	(アレルギー外来)	(2・4アレルギー外来)	
	雨積涼子		交代	比嘉千明	尾辻健太	
夜間			【とよみ生協】 (アレルギー外来)			
			尾辻健太			

病院の活動状況 <2月度>

- ・外来一日平均患者数:601人(前年同月比 -49人)
- ・入院一日平均患者数:284人(前年同月比 +10人)
- ・組合員利用率:55.6%(前年比 +2.2%)



画・内科医 上原和博

新入生
大きくなった
待っている
(島田万紀子)



カーナ

とよみ生協病院
事務課長 金城稲子

めにつぶすことは沖縄の過去・現在・未来までつぶすことになると私は思っています。

カーナ、オゴー、カーナは形は違いますが、ガリガリとした食感は今も同じだ。茹でるとききれいな緑色になり酢の物にするときやみつきになる。
沖縄南部ではスーナ等を食べる習慣はなかったようだが、伊江島や八重山等の離島や、やんばるでは昔から食べられていた。「浜下り」という行事が受け継がれる程、浜は人々に日々の糧を与え、癒してきた。そんな浜を戦争の基地を造るためにつぶすことは沖縄の過去・現在・未来までつぶすことになると私は思っています。

おきなわの自然

海藻

沖縄で春を感じるのには新緑だが、浜ははつきりと春の訪れを告げてくれる。まず2月頃からアーサ(ひとえくさ)が浜を緑で覆い尽くす。3月に入ると地域

によって呼び名は変わるが、スヌイ(もずく)、モイ(いばらのり)、スーナ(ゆみがたあごのり)、オゴー(びれあごのり)、カーナ(あごのり)等の海藻が浜を茶色に塗り替えるのだ。浜は5月初旬まで春の香りに満たされる。

私はこの季節が大好きだ。この時期の大潮の日は眠さえあれば海岸沿いをドライブする。あちこちで膝まで浸かりながら、ミレーの落穂拾いに似た体勢でおばさん達が一心に海藻を探っている姿は今の時期の風物詩だ。海藻は毎年同じ場所に生える。ドライブしながらのポイント捜しもまた楽しい。